

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都府知事	2024年 7月 30日
住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	氏名 (法人にあっては、名称及び代表者名)
岡山県岡山市中区藤崎675-1	ナガセヴィータ株式会社 代表取締役社長 安場 直樹 電話番号: 086 - 276 - 3141

環境マネジメントシステムの名称	ISO14001
適用範囲	ナガセヴィータ株式会社福知山事業所
導入年月日	2006年 6月19日
認証番号	JQCA-E-0753
基本方針	1. 私たちは、環境マネジメントシステムの構築とその継続的改善を行い、環境負荷の低減と環境品質の向上に努めます。 2. 私たちは、環境関連の法規を遵守すると共に、自主基準、業務手順を整備し、環境管理の向上を図り、環境汚染の予防に努めます。 3. 私たちは、環境目標を定め、これらを達成するために開発技術並びに生産技術能力を高め、持続可能な資源の利用、地球温暖化への対策、生物多様性の保全に努めます。 4. 私たちは、社員教育を通じて全社員の環境改善に取り組む意識の向上を図ります。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標 (以下「目標」という。)	1. 廃棄の削減・抑制 2. 環境汚染防止 3. 法規制管理体制の強化 4. 新規製品開発による環境負荷の軽減 5. 主要製品の生産性改善による環境負荷の軽減 6. 省エネルギー活動の推進
目標を達成するための取組の内容	1. 廃棄の削減・抑制: 製造ロスの削減、試験消耗品の削減 2. 環境汚染防止: 漏洩防止 3. 法規制管理体制の強化: 管理の徹底 4. 新規製品開発による環境負荷の軽減: 環境負荷軽減製品開発・販売 5. 主要製品の生産性改善による環境負荷の軽減: 環境負荷軽減製品開発・販売 6. 省エネルギー活動の推進: 省エネ活動にて取組
目標を達成するための取組の進捗状況	1. 廃棄の削減・抑制: 製造ロスの削減、試験消耗品の削減 2. 環境汚染防止: 漏洩防止 3. 法規制管理体制の強化: 管理の徹底 4. 新規製品開発による環境負荷の軽減: 環境負荷軽減製品開発・販売 5. 主要製品の生産性改善による環境負荷の軽減: 環境負荷軽減製品開発・販売 6. 省エネルギー活動の推進: 省エネ活動にて取組
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	2023年度実績は、生産量は減少し、廃棄物量についてもLAC廃液外部処理分を除くと通年通りとなっています。また、原単位は単年度では悪化しているものの、5年度平均は1%以上改善できています。生産性向上、省エネ活動等による使用エネルギー削減に向けた継続的な取り組みの結果が表れており、京都府より「事業者排出量削減計画・報告・公表精度における『優良事業者』」として、京都府から表彰、当事業部門の事業活動が地球環境の保全に貢献していると考えています
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規の遵守状況について6カ月毎に確認を行っている。 違反及び行政当局からの指摘はなかった。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	1. 認証取得後、18年が経過し、JQCAの審査も問題なく終了してまた、今回の報告から各部署で環境活動に熱心に取り組まれていることが理解できる。よって、当事業所の環境マネジメントシステムは有効に機能していると判断する。 2. 提案された継続的改善に対する決定⇒各部署で適切な目標をたてて、その達成に向けて取り組む。環境にやさしい酵素の市場展開を図り、サステナブルな社会への貢献に取り組む。排水処理に負荷がかかっているが、今後の生産量増加を考えると、継続的に対策を講じる必要がある。各部署が連携・協力し、処理負荷を下げる改善に取り組む。 3. 環境方針・環境目標・経営資源・利害関係者を含む環境マネジメントシステムに関連するあらゆる変更の必要性⇒環境方針に関しては必要に応じて再設定し、環境目標についても、環境方針、事業部門経営方針を踏まえ、必要に応じて変更を行う。 4. 環境目的が達成されていない場合の処置の方法⇒環境目的は、達成されていると考えます。 5. 環境方針・リーダーシップ・コミットメントのような環境マネジメントシステムの戦略的な方向性に関する事項⇒当社はサステナビリティ経営に取り組んでおり、そのマテリアリティの一つとして「環境負荷の低減」がある。生産性向上、技術開発により環境負荷低減に取り組むことを継続する。カーボンニュートラルへの取り組み意識を浸透させる。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムの内容について第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。